



発行 甲府市農業委員会
 住所 〒400-8585
 山梨県甲府市丸の内一丁目18番1号
 電話 055-237-1161(内線7344)
 055-237-5892(直通)
 FAX 055-227-8719
 編集 甲府市農業委員会だより
 編集委員会

尾崎さんご夫妻

平成29年から甲府市内で就農しています。
 栽培：モモ・スモモ・トウモロコシ・ナス・野沢菜



おもな内容

- 農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します 2
- GAP(ギャップ)の概要について 3
- 賃借料情報、臨時雇賃金、農業委員会活動報告 4
- 農業賞、農業委員任期の振り返り、お知らせ 5
- せん孔細菌病対策、凍霜害対策 6

夫の尾崎太郎さん(写真右)は20年近くダイビング(潜水)の仕事に従事していましたが、「自分の手で最高に美味しいモモを作る」と一念発起し甲府市中道地区に移住、ゼロスタートから就農しました。妻の尾崎たまきさん(写真左)は自分の仕事(カメラマン)の傍ら繁忙期には農作業を手伝っています。

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

農業委員と農地利用最適化推進委員が、相互に連携を図りながら地域の農地の相談役として活動していただきます。

募集期間 令和2年2月17日～3月13日（必着）

推薦・応募の方法

「団体等から推薦」と、「自ら応募」の2通りの方法があります。（詳しくは応募案内を参照してください。）

推薦及び応募に係る書類の配布・提出先

市役所8階農政課、農業委員会事務局、農業センター、中道支所、上九一色出張所、各窓口センター、JA各支店窓口

農地利用最適化推進委員

募集人員 18名

応募資格 農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有する者で、担当する区域において、農地等の利用の最適化の推進のために活動できる方。

主な仕事

- ① 農地利用の最適化のための現場活動
 - ・ 担い手への農地の利用の集積・集約化
 - ・ 耕作放棄地の発生防止・解消
 - ・ 新規就農者、企業参入等の指導・助言
- ② 各種会議への出席（総会、委員会等必要に応じて）

任期 令和2年7月31日～令和5年7月30日

担当地区 下記に定める指定区域

担当区域	人数
千代田・能泉・宮本・千塚・山宮	1人
相川・池田	1人
里垣	1人
甲運	2人
玉諸	2人
山城・貢川・旧市	4人
大里・国母	1人
中道北	3人
中道南・上九一色	3人

農業委員

募集人員 19名

応募資格 農業に関する知識を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他農業委員会の所掌する事項に関し、その職務を適切に行うことができる方。

主な仕事

- ① 農地利用最適化推進指針の策定
- ② 農地に関する貸借・売買・転用の許可
- ③ 上記に係る毎月の会議（総会）・各種会議（必要に応じて）への出席及び現地調査
- ④ 審査等に関する現地確認等

任期 令和2年7月31日～令和5年7月30日

担当地区 市内全域



令和元年11月21日（木）

3年ぶりに県外視察研修を行いました。愛知県大府市にある「げんきの郷」は、知多半島の付け根に位置し、名古屋などの大都市を支える台所。年間130万人が訪れる複合施設に成長させた当時から引き継ぐ思いを学びました。

農業委員会
県外視察研修

普及センターコーナー

中北地域普及センター
(中北農務事務所 農業農村支援課)

GAP(ギャップ)の概要について

GAP(農業生産工程管理)について紹介します。

GAP(ギャップ)とは「Good(良い) Agriculture(農業) Practice(やり方)」の略語で、「良い農業のやり方」と訳せます。

少し難しく思つかもありませんが、つまりGAPとは農家のみなさんが「良い農業」を実現するために、農作業工程などを確認し管理することです。

農産物を栽培し、収穫・出荷するまでには幾つもの作業工程があります。この工程の中には、様々なリスクが潜んでおり、一つ作業を間違えると農業経営に影響を与えかねないことがあります。例えば、農薬の使用を間違つて残留した農薬による農

産物の汚染、農作業中の機械事故、農薬や肥料の河川への流出など様々な問題の発生が考えられます。

GAPは農業者自らが農作業工程等の点検、検証を行うことで、問題の発生を未然に防止し、「安全・安心を担保する農業」「持続可能な農業」等々を実現するための農業規模となります。

次にGAPの具体的な方法を紹介いたします。まず、農業毎に、どのような問題の発生が考えられるか書き出します。更にその問題が発生する要因は何か、発生させないためには何が必要かを整理します。これら点検項目をまとめたチェックシートを作成し、このチェックシートを活用しながら、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価、改善を繰り返しながら、よ

りよい農業に近づけていくことができます。

GAPの導入効果



農作業の安全確保
農作業事故を減らし、安全な労働環境を作ります。



環境負荷の軽減
環境に負荷を与えないように配慮して、きれいな田畑や水を未来に残します。



農産物の安全性向上
食品事故を未然に防ぎ安全・安心な農産物を生産・提供します。

やまなしGAPの認証制度について

やまなしGAPについて紹介します。

従前からの国際水準の認証制度であるJGAP、GLOBALGAPに加え、国のガイドラインに準拠し、都道府県等の公的機関が確

認したGAPとして山梨県でも独自のGAP認証制度を構築し、「やまなしGAP」として認証制度がスタートしています。

次にやまなしGAPの認証制度について説明します。申請できる方は、県内の農業者、農業法人、JA生産部会などです。

認証の要件はやまなしGAP導入基準書に定める以下の事項を実践していることと定めています。

- 1・食品安全を主な目的とする取組、2・環境保全を主な目的とする取組、3・労働安全を主な目的とする取組、4・生産工程管理の全般に係る取組、5・出荷団体の取組。

この取組項目を果樹・野菜・水稲など品目ごとに実践していただいている農業者や農業法人が認証申請することができます。

これら実践すべき事項(チェックリスト)や申請様式など詳細は県農政部農業技術課のウェブページをご覧ください。

なお認証期間は3年で、認証期間中は取組事項の実践について1年ごとに内部監査報告書の提出が義務付けられます。

やまなしGAPに認証されると、やまなしGAPのロゴマークを使うことができ、出荷箱やパック、シール等に印刷することで安全・安心に取組む証をアピールできます。

現在、甲府市内においても一法人が認証済み、JA山梨みらい甲府地区果実部及び野菜部、JAふえふき中道支所野菜・果実総合会において部会員によるGAPの取組が行われており、やまなしGAP認証に向けた準備が進められています。

やまなしGAPロゴマーク



令和2年度 農業臨時雇賃金等標準額

作物	項目	区分	金額(円)	単位	
稲	耕起代かき	山間地	14,100	10a当たり	
		平地地	13,100		
	耕起	山間地	8,600	10a当たり	
		平地地	8,000		
	代かき	山間地	8,600	10a当たり	
		平地地	8,000		
	機械田植	山間地	10,300	10a当たり	
		平地地	9,500		
	稲刈機械(バインダー)			10,000	10a当たり (結束ヒモ付き)
	脱穀機械 (ハーベスター)	山間地	9,500	10a当たり	
平地地		9,000			
稲刈・脱穀(コンバイン)			19,000	10a当たり(乾燥まで)	
果樹(剪定)			13,000	1日当たり	
ブドウの棚補修			16,000	1日当たり	
一般農作業			900	1時間当たり	
備考	(1) 本表は、標準的な料金を示すものであり、圃場の条件や作業条件などを勘案して、当事者間の協議により決定することを前提としております。なお上記以外の作業についても協議のうえで決定してください。 (2) 燃料は、請負者持ちです。				

賃借料情報 賃貸借の参考にしてください(10a当たり)

作物区分	地域区分	平均額	最高額	最低額
稲作	甲府市平均	11,500円	20,500円	3,700円
	旧甲府市(平地地)	12,400円	20,500円	7,400円
	旧中道町	9,600円	10,600円	7,900円
野菜	甲府市平均	10,000円	19,700円	4,000円
	旧甲府市(平地地)	10,600円	17,900円	5,000円
	旧中道町	10,400円	19,700円	4,000円
果樹	甲府市平均	13,300円	25,200円	5,000円
	旧甲府市(平地地)	17,600円	25,200円	10,000円
	旧甲府市(山間地)	10,700円	19,300円	5,000円
	旧中道町	10,700円	19,100円	5,900円
ブドウ	甲府市平均	14,400円	26,900円	5,000円
	旧甲府市(平地地)	18,300円	26,900円	5,900円
	旧甲府市(山間地)	10,700円	19,300円	5,000円

※該当のない地域は上記を参考にしてください。

農業委員会からのお知らせ

農業委員会活動報告

農業委員会では、毎月の定例総会で、各種申請や届出の許可決定を行っています。

【定例総会】(平成31年4月～令和元年9月)

4月25日、5月30日、6月28日、7月30日、8月30日、9月27日

【定例総会で決まった案件】(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

耕作目的の売買・賃貸(3条許可)	12件	16,943㎡(1.69ha)
市街化調整区域内の転用(4、5条許可)	63件	101,735㎡(10.17ha)
市街化区域内の転用(4、5条届出)	73件	40,900㎡(4.09ha)
利用権の設定	新規	44件 68,646㎡(6.86ha)
	再設定	87件 137,153㎡(13.71ha)
	解約	15件 23,550㎡(2.35ha)
相続税納税猶予	1件	1,734㎡(0.17ha)

農地利用状況調査は、農業委員、農地利用最適化推進委員、農地銀行推進員、一般農家の方々の協力を得て、毎年9月に行っています。

【利用状況調査結果】(令和元年10月末現在)

調査実施対象	46,119筆	17,628,118㎡(1,762.81ha)
うち遊休農地等状況	896筆	363,735㎡(36.37ha)

祝・甲府市農業賞
受賞おめでとう
ごぞいます

遠藤 茂喜 様

令和元年度の「甲府市農業賞」は、西油川町の遠藤茂喜氏が受賞されました。



トマトの施設栽培にいち早く取り組み、先進的な経営を行っているだけでなく、新たにトマト栽培を始める農家や新規就農者に対して相談・助言を行うなど、指導的な立場にもあります。

今後も、甲府市農業を牽引するトップランナーとしてご活躍を期待しています。

今回の任期を
振り返って

農業委員 田中 由美



農業委員のこれまでの任期を振り返って、ひとことで感想を述べるとすれば、「甲府が前より愛おしくなった」ということでしょうか。

平成二十七年の農業委員会法改正により、農業者以外の中立委員を入れるきまりになったため農業委員をしています。私は普段弁護士をしています。文字通り「畑ちがい」の仕事をしており、これまでは野菜はどのスーパーが安いかを気にするだけの一介の消費者にすぎませんでした。

しかし、農業委員になり、農業者の方とふれあい、農業の抱える問題に取り組み中で、農業に対する考え方が

が変わり、ぐっと視界が開けた気がしました。それからというものの、今まで単なる曲がり角だと思っていた場所が、ぶどう畑だったということがわかったり、ここはシャイン、ここはデラウェアを育てているとか、ここは下草をとってもきれいにしているなど、同じ景色を見ても、違った見方ができるようになりました。

また、気がつくと、お店で農産物を買うときにも、値段だけでなくできるだけ地産物を選ぶようになったり、子供たちとも食事の時などに地元の農業の話もするようになりました。地元の名産を知り、大事に思うことは、地元を愛することにつながると思います。しかも、農産物の豊富な甲府市。私は甲府市の出身ではありませんが、農業や農産物のことを意識するようになってから、甲府が自分のもともとのふるさとのような気持ちを持つようになりました。

私が農業委員としてどれだけ貢献できたかはわかりませんが、この貴重な経験を今後に生かしていけたらと思っています。

野焼き時の注意

農業者が行う稲わら・剪定枝などの焼却でやむを得ないものについては野焼きすることが可能ですが、煙や悪臭などで近隣の迷惑にならないように配慮してください。また、火災の危険もありますので、火の始末についてもしっかりと消火するようにお願いします。

農作業は、慎重に

農業用機械での作業中の死亡事故が多発していますので細心の注意をしてください。

○作業車の使用中は、常に周囲を確認し低い枝や支柱・支線の近くの走行を避け、土手への乗り上げや脱輪に注意する。○高所作業台は転倒の恐れがあるので凹凸のない場所で使用し作業台を上昇させたまま走行しない。○脚立での作業時は、安定した場所に設置し、開脚防止のチェーンを掛け、無理な体勢で作業しない。

☎ 就農支援課
TEL (241) 5616

人・農地プランを
作成するための
話し合いへの参加を

これまで営々と築き上げてこられた地域の農業・農地のこれからを地域の皆さんで考えてみませんか。地域の農地利用最適化推進委員会を中心に集落ごとに話し合いを行っています。皆様の積極的なご参加をお願いします。

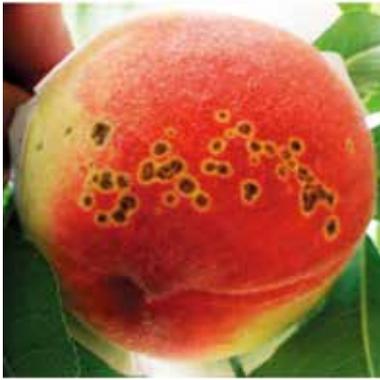
☎ 農政課
TEL (298) 4833

農業者年金への加入を

農業者であれば、誰でも加入できます。終身年金であり、掛け捨て部分がありません。詳しくはお近くのJA窓口へ

☎ 農業委員会
TEL (237) 5892





モモの産地を守ろう

～モモのせん孔細菌病の防除対策～

モモのせん孔細菌病は、一度感染すると、もとに戻るまでに長期間を要します。そのため、計画的に防除する必要があります。

せん孔細菌病を拡大させないためには、以下の防除対策が有効です。なお、昨年の秋にはすでに薬剤を散布していただいていると思いますが、春にも薬剤の散布をお願いします。詳しくは、JAや農薬の販売店等に相談してください。

散布時期	薬剤と調合量 (100 ㎡当たり薬量)	10a 当たり散布量
3月中旬～下旬 (花卉が見え始める頃まで)	IC ボルドー 412 30 倍 (3.3 kg) 又は 4-12 式ボルドー液(硫酸銅 :400g 生石灰 :1.2 kg)	500 ㍓
4月～5月 (落花直後から 1週間おきに2～3回)	アグレプト液剤・水和剤 1,000 倍 (100cc・100g) 又は マイコシールド 1,500 倍 (66g)	400 ㍓

凍霜害対策

▼果樹

事前対策

露地栽培等

ブドウのホース栽培では、基部の2芽を被覆せず被害発生時の予備とする。また、展葉始め以降に低温や凍結の被害が心配される場合は、ホースを除去する。ただし、芽や新梢が降雨・雪により濡れた状態で低温に遭遇する場合は、ホースの除去を見送る。

事後対策

★凍霜害発生時や開花期の低温が予想される場合には、下向きの花を中心に丁寧な人工受粉を行い、安定した結実を確保する。開花期が低温で経過する場合には、開花期間が長くなるものの結実率は低下するため、受粉回数を増やす。
★被害発生樹では、結実状況や新梢等への被害程度が確認できるようにしてから、摘花・摘果・芽かき・摘房等の作業を行う。

★果実が低温を受けると奇形果、さび果、生理落果が発生するので、摘果作業は注意して行う。

★立木果樹では、樹冠下部の被害が発生しやすい。樹冠下部の着果量が少ない場合には上部の着果をやや多くする。特に着果量の少ない樹では、追肥を控えるとともに奇形果やさび果等も適度に着果させ、徒長を抑制するとともに新梢管理を徹底する。

▼野菜

事前対策

★無加温ハウスでは、外気温が-1℃以下になると予想された場合、ハウス内を多層(2～3層)被覆するとともに、状況によっては簡易ストープ等を使って保温する。(スイートコーン・レタス等)
★小型ハウスや一重トンネルの保温効果は、外気温に比較して+1℃程度しか期待できないので、低温が予想される場合は、さらに保温効果の高い被覆資材(シルバースイート、不織布、ムシロ)を利用する。

編集後記

★スイートコーンの一重トンネル栽培では、軟弱徒長しないようトンネルの換気に注意するとともに、本葉5枚時以降にトンネルの裾を4m間隔の千鳥に、10cm程度部分開放することで、分けつの発生を確保し、降霜など低温による障害の軽減を図る。

昨年、甲府市の農業は地球温暖化に伴う気候変動と思われる春先の霜害、7月の長雨と日照不足、桃のせん孔細菌病の発生、9月の大型台風襲来など自然災害によって甚大な被害を受けた年でありました。

さて、本年は東京で56年ぶりに開催される東京オリンピック・パラリンピックなどにより、甲府市への大勢の観光客も見込まれます。甲府市の美味しい桃・ぶどう・野菜などを認知してもらえ、絶好の機会と捉え、気分新たに頑張る年にしたいものです。

編集委員 末木瑞夫